

資料7 平成30年度に新たに導入した機器

赤外分光光度計

(概要)

試料に赤外光を照射し、透過又は反射した光を測定する装置です。測定で得られる赤外吸収スペクトルは、物質の化学構造によって固有の形状を示します。この特徴を利用して、有機材料の化学構造の推定や、対照品の赤外吸収スペクトルを測定して比較したりすることで製品中の異物や不良原因物質の同定、製品評価等に幅広く用いることができます。

[型式]

日本分光 (株) FT/IR-6600FV (本体部)
IRT-5200 (顕微鏡部)

[仕様]

○本体部

- ・検出器 (測定波数範囲)
DLATGS 検出器 (680 cm^{-1} ~30 cm^{-1})
DLATGS 検出器 (7800 cm^{-1} ~350 cm^{-1})
InGaAs 検出器 (12000 cm^{-1} ~4000 cm^{-1})

・真空対応

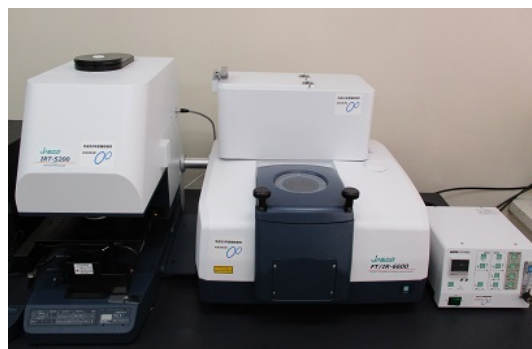
・主な附属品

近赤外用拡散反射測定装置

1 回反射 ATR 測定装置 (ゲルマニウム、ダイヤモンド)

○顕微鏡部

- ・検出器 (測定波数範囲)
MCT 検出器 (7800 cm^{-1} ~600 cm^{-1})
- ・主な附属品
ATR 測定装置 (ゲルマニウム、ダイヤモンド)



(購入額)

21,816,000 円

(用途)

- ・製品異物や不良原因物質の同定
- ・有機材料の開発

(設備使用料)

1 時間につき 1,480 円

(試験手数料)

1 試料につき 4,630 円

※ 本機器は、(公財) JKA の補助を受けて設置しています。